

# 英語科の学習方法

## 1. 授業について

- (1) 学習用具をきちんと準備する。
- (2) 宿題は家でやってくる。
- (3) 先生の話集中して聞く。
- (4) 大きな声で発音練習する。音読は視覚、聴覚、さらに口の筋肉やリズムを伴う”全身記憶”なので、効果は大きい。
- (5) 板書を丁寧に素早くノートに写す。色ペンや付箋を使って役立つノートを作る。

## 2. 家庭学習について

昔から言語習得は「習うより慣れろ」と言われるとおり、短時間でも、毎日続けることが大切。教科書の音読だけでもいいので、毎日の家庭学習に組み込んでほしい。

- (1) 復習の仕方（必ずやろう）
  - ①板書を写したノートを、もう一度授業を思い出しながら読み返す。
  - ②基本文・単語連語・重要表現を声を出して読む。さらに、覚えるまで書く。
  - ③ワークや問題集でまとめる。
- (2) 予習の仕方（できればやろう）
  - ①次のパートの単語の意味調べをする。
  - ②余裕があれば本文を読んでその場面を想像し、大まかな意味をつかんでおく。

## 3. テスト対策

英語の成績を上げるには、まず『英単語・連語』、『英文法』。これは繰り返し読んだり書いたりして正確に覚える。それらがある程度身についたら『長文読解』や『英作文』ができるようになる。『英単語・連語』『英文法』『長文読解』『英作文』の4つの力を鍛えよう。

- (1) 単語・連語
  - ①理屈抜きで覚えるものと、系統立てて整理して覚えるものがある。apple（りんご）は理屈抜き。しかし、student と study はどちらも勉強に関係しているし、最初の stud

までは共通していることを理解すれば覚えやすい。同様に、new と old などの対義語や father (父) mother (母) son (息子) daughter (娘) などは関係づけて覚えよう。私たちの生活の中で、英語はたくさん使われている。スポーツやゲーム、コンピュータ関連の用語など、身の回りの言葉に対するアンテナの感度を上げて、語彙を増やしていってほしい。

②「意味」「発音」「スペル (つづり)」は3つセットで覚えること。いきなり書いて覚えようとせず、まずは何度も声に出して発音し、そのつづりを見たらさっと読めるようにしておこう。発音できない単語は覚えられない。もしくは、覚えてもすぐに忘れてしまうもの。また、約80%の英単語は、つづりと発音は規則通りなので、何度も声に出して発音し、その法則を身につけることで、だんだんと新しい単語をラクに覚えられるようになる。

③自主勉ノートにびっしりと英単語を書いたのに、後で確かめてみるとほとんど頭に入っておらず、がっかりしたことはないだろうか。これは、書くことが目的になってしまっているから。1回書くたびに、覚えられたかどうか確認する意識が必要だ。

## (2) 基本文 (文法)

まず、それぞれの文型は、どんなことを伝えるために使うのかを理解しよう。さらに、日本語と英語の違いを意識して覚えよう。主な注意点は、

- ①英語は「主語＋動詞」の語順で、原則として主語の後はすぐに「動詞」がくる。
- ②英語は語順で意味を伝える言語なので、語順が決まっている。何度も繰り返し書いたり声に出して読んだりして、完璧に覚えよう。
- ③英語は (ふつうは) 主語を省略しない。

## (3) 長文読解

- ①教科書の本文をすらすら読めるまで毎日読んで覚える。”必要な表現”は全て教科書に書いてあるので、それらが頭に入ったら、さらに読むスピードも速くなる。
- ②文章全体にすばやく目を通し、文章のだいたいの意味や流れを押さえる。知らない単語は全体の流れで判断する。一語一句理解しようとしなくてもよい。
- ③日本語に訳さず、できるだけ英語のまま理解するようにする。

#### (4) 英作文

「基本文」の項でふれたように、英語と日本語では語順が違うので、日本文の順番通りに対応する英単語を並べても、正しい英文にはならない。英作文上達のためには、教科書本文や重要例文の暗記が大切。英作文のコツは、例文を真似ることだ。「書いてみても、自分では正解かどうか分からない」「どうやって勉強したらいいのかわからない」と立ち止まってしまうのでなく、まずは例文を参考にして書いてみよう。間違えたら、正しい文を何度も書いて完璧に覚えよう。

#### (5) リスニング

英語のテレビ（ラジオ）番組を積極的に観る（聞く）ことで、英語の音声に慣れよう。リスニング問題に使われる語句や文法は、基本的なものがほとんどなので、教科書の本文等を繰り返し音読するのも一つの方法である。疑問詞を使った疑問文がよくできるので、疑問詞を聞いたら意味がぱっと頭に浮かぶようにしておこう。

英語学習では、とりわけ話したり書いたりする場面において、失敗をおそれず、積極的に英語を使おうとする態度をもってほしい。英語学習の最終目標は、英語を使って外国の人とコミュニケーションを取れるようになること。恥ずかしがらず積極的に授業に参加して、「読む」「聞く」「書く」「話す」の4技能をバランス良く身につけていこう。英語検定などの外部試験に挑戦するのも幅広い英語力をつける効果的な方法の一つである。